平成３０年１月１3日（土）　　[目次へ](http://www.mugyu.biz-web.jp/nitiroku.index.htm)　　[前回に戻る](nikki.30.01.10.htm)

逃亡先から。

腹減斎です。ツラいので逃亡中。それにしても肝冷斎はどこに消え失せたのか。

逃亡中の岩窟の中からなのであまり本格的な更新ができません。非本格的にやります。

・・・・・・・・・・・・・・・・

唐の時代のことですが、**潙山霊祐禅師**のもとに**仰山慧若**というぼうずが入門してきた。

ある日、二人で牧場のウシの世話をしながら、潙山禅師が言う、

**此中還有菩薩也無。**

この中にまた菩薩有りや無きや。

「おい、このウシどもの中にも、やはりぼさつはいるのかいないのか？」

仰山は間髪を入れずに答えた。

**有。**

有り。

「いますよ」

**你見那个是。試指出看。**

なんじ那个（なこ）を見て是とすや。試みに指出し看よ。

「ほう・・・。おまえはどいつをぼさつだと思っているのか？　ちょっと指さしてみてくれんか」

仰山はまた間髪を入れずに言った。

**和尚擬那个不是。試指出看。**

和尚、那个を擬して是ならずとすや。試みに指出し看よ。

「お師匠さまは、どいつがぼさつではないと思ってらっしゃるのか。ちょっと指さしてみてくださいよ」

「ぶー」

**潙休去。**

潙、休め去りぬ。

潙山は黙ってしまった。

・・・・・・・・・・・・・・・

[**「聯灯会要」**](nikki.22.01.20seiwa.htm)**巻八**より。ちょっと気まずくなってツラかったかも。

[次へ](nikki.30.01.14.htm)